

株式会社IVRy  
2021年12月22日

## 電話DX SaaSの「IVRy(アイブリー)」がシリーズAで フェムトパートナーズ、プレイドから総額3億円の資金調達を実施 電話応答の自動化を通じた業務効率化、生産性向上による「電話DX」を推進

月額3,000円から使える電話自動応答サービス「IVRy(アイブリー)」を提供する株式会社IVRy(本社:東京都台東区、代表取締役CEO:奥西 亮賀、以下「当社」)は、フェムトグロース・スリー投資事業有限責任組合、株式会社プレイドを引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約3億円の資金調達を実施したことをお知らせします。また、本資金調達は当社として初の実施となります。

今回の調達資金によってプロダクト開発および採用・組織体制の強化を行います。これにより、当社事業をますます加速させ、電話応答の自動化による業務効率化を一層推進し、他サービスとの連携により電話DXを実現してまいります。



(写真左からプレイド 宮原 忍氏、IVRy 代表取締役CEO 奥西 亮賀、フェムトパートナーズ 曾我 悠平氏)

### ■資金調達の背景と目的

当社は「すべての電話問い合わせを整理し、ビジネスと労働の当たり前を進化させる」をミッションに、電話自動応答SaaSサービス「IVRy(アイブリー)」を提供しています。

「IVRy」は、様々なシーンでの電話業務を自動化・効率化し、普段の業務オペレーションへの集中や対応工数削減を実現するSaaSサービスです。自由な分岐設定と自動応答・SMS返信・電話の転送(リダイレクト)・録音機能・ブラウザ電話機能等を活用することで、営業電話・顧客からの問い合わせ・注文・予約等の様々なシーンを自動化します。

「IVRy」は2020年7月にβ版として提供を開始し、2020年11月に正式リリースいたしました。サービスリリースから1年で、病院・クリニック、企業の代表電話・部署電話、飲食店、美容院、EC事業者などをはじめとして、20以上の業界に渡って利用をいただいております。これまでに計50万件以上の着電の自動応答を実現<sup>(※1)</sup>し、直近6ヶ月で800%以上の利用者数増加を実現しております。 ※1:2021年12月15日時点までの実績

IVRyが評価されている点は主に下記の4つがあります。

1. 最短数分でサービス利用開始可能な即時性
2. 月額3,000円から使えるというコスト的なハードルの低さ
3. 中小企業・商店などデジタルサービスに明るくない方でも簡単に使っていただける、業界トップクラスに使いやすい直感的なUI/UX
4. 病院・クリニック、企業の代表電話・部署電話、飲食店、美容院など、幅広い業種・ユースケースで活用できる高いカスタマイズ性

このたび調達した資金は、サービスの機能開発およびマーケティング、組織体制の強化、並びに現在注力中である採用活動に活用することで、さらなる事業成長を図ってまいります。これにより、必要不可欠でありながら、「通話」という観点では、約50～100年に渡って業務効率化が進んでいないコミュニケーションツールである「電話」のあり方を再構築し、「電話DX」を実現することで、スモールビジネスや中小企業を中心とした、あらゆるビジネスの業務効率化を実現してまいります。



#### ■資金調達概要

調達金額: 約3億円

調達方法: 第三者割当増資

株主 : フェムトグロース・スリー投資事業有限責任組合、株式会社プレイド

資金用途: プロダクト開発、採用・組織体制の強化

#### ■引受先からのコメント

##### フェムトパートナーズ株式会社

##### General Partner 曾我 悠平 氏

メール、slack、メッセージとさまざまなコミュニケーションツールが普及しているにも関わらず、いまだになんかあったら電話して、と使い続けられている電話。IVRyは電話というレガシー領域に切り込み、新しいコミュニケーションスタイルを確立する会社になれるのではと思いました。事業立ち上げ経験豊富な奥西社長をはじめとする、百戦錬磨のチームによるスピード感ある経営にも期待しています。IPOした投資先であるプレイドとの共同投資も私たちにとっては初の試みで、それら全てひっくるめて日本のコミュニケーションを変革する旅をこれから一緒にできるのが楽しみです。



## 株式会社ブレイド

### 執行役員 宮原 忍 氏

投資の実行に際し、奥西さんとは今後の事業戦略からプロダクト戦略まで、密にコミュニケーションさせていただきました。その結果、クライアントはもちろん業界全体に対する理解度の深さ、事業構想力と製品開発力の高さ、PLG (Product-Led Growth) でのサービス展開を可能にする優れたUI/UX、そして顧客中心の文化が組織全体に浸透していることを強く感じました。また、アーリーフェーズのスタートアップであるにも拘わらず、既に優秀なプロダクトチームが組成できているため、これから直面するであろう様々な不確実性を乗り越えながら、価値創出と事業成長の両輪を回し続けられるイメージが持てたということも今回の意思決定の大きなポイントでした。

ブレイドは資本面だけでなく、事業面においては「IVRy」とプロダクト連携を進めることで、これからの両者の大きな成長を共に実現するとともに、社会や産業の質的転換を起す可能性を秘めているSaaS企業の誕生を支援していきたいと考えております。



【投資家インタビュー】なぜ今「電話DX」なのか？シリーズAの投資家2名に聞く、IVRyの可能性

上記の2人の投資家と創業者兼代表取締役CEO奥西の対談をnoteにて同時公開いたしました。

IVRyとの出会いの経緯、投資を決断した理由、今後の期待、今回の取り組みによるシナジーについてお話しいただいています。ぜひご覧ください。

URL: <https://note.com/ivry/n/n8541c09f8736>



### ■株式会社IVRy 代表取締役CEO 奥西 亮賀のコメント



起業して約2年半、IVRyの事業を始めてから約1年で、初の資金調達となりました。過去数年間で十数個の新規事業を経験してきましたが、IVRyは立ち上がり時点で絶対に伸びるという確信を持てるサービスでした。

一方、多くの方々とお会いさせていただく中で、様々な評価をいただきましたが、最も当社のプロダクトとチームの可能性を信じてくれて、リスペクトを持って対応していただけたのが、フェムトさんとブレイドさんでした。

フェムトさんにおいては、本当の意味で起業家目線で、初ラウンドの右も左もわからない私達を細かいところまでフォローしてくださり、我々の方向性を尊重して接していただけた点をはじめとして、非常に感謝しております。また、ブレイドさんに関しても、IVRyのプロダクト・チームを本質的に理解し、リスペクトいただけたことをありがたく

感じています。弊社よりも弊社目線でIVRyのことを考えていただく中で、両社のユーザー、クライアントにとって、意味のある事業シナジーを創出させていただけると確信しています。

今回の資金調達をきっかけとして、人員およびマーケ、プロダクト強化を行い、さらなる事業成長を図るとともに、日本の「電話DX」を実現していきます。

### ■電話自動応答サービス「IVRy(アイブリー)」について



IVRy(読み: アイブリー、URL: <https://ivry.jp>)は月額3,000円から利用できる電話自動応答サービス(IVRシステム)です。PC/スマートフォンから即時登録・設定でき、最短5分で利用開始可能です。

自動応答の分岐を自由に設定、電履歴の確認、録音再生確認、電話帳管理などの豊富な機能が利用可能なため、営業電話・顧客からの問い合わせ・注文・予約等の様々なシーンへの対応が可能です。

これまで病院・クリニック、企業の代表電話・部署電話、飲食店、美容院、ECをはじめ、様々な業界・業種で幅広く利用されており、営業電話への対応効率化による80%の工数削減や、1日数万件を超えるワクチン予約の電話を自動応答の実現、IVRyを利用した簡易コールセンターの社内構築などの事例もございます。

↓導入事例はこちら↓

<https://ivry.jp/case>

↓株式会社IVRy採用サイトはこちら↓

<https://peoplyticswork.notion.site/IVRy-e1d47e4a79ba4f9d8a891fc938e02271>

### ■IVRyの機能について

人の対応が必要な内容と、自動化できる内容に振り分けることで、電話対応の負担軽減ができます。読み上げテキストの登録、道案内、予約など様々な使い方をさせていただくことができ、ローコストかつ簡単に導入することができます。



### ■株式会社IVRyについて

会社名 : 株式会社IVRy(アイブリー)  
代表者 : 代表取締役 奥西 亮賀  
設立年月 : 2019年3月  
所在地 : 〒111-0056 東京都台東区小島2-14-5 毛利ビル302  
電話番号 : 050-3204-4610  
会社HP : <https://ivry.work>



株式会社IVRy(読み: アイブリー)は、月額3,000円から利用できる電話自動応答サービス(IVRシステム)IVRyを運営・開発しています。

[お問い合わせ先] 株式会社IVRy 広報: 藤田・風間

電話番号: 050-3204-4610 Email : [kazama@peoplytics.work](mailto:kazama@peoplytics.work)